

事業名：水産環境整備事業

地区名：沖縄地区（沖縄県）

●地区の概要

沖縄県は、日本の南西部に位置し東西約1,000km、南北約400kmに及ぶ海域に散在する160の島々からなる。亜熱帯海域特有の少産多種の水産資源という特徴から、多くの沿岸漁業者は、複数の漁法を組み合わせた複合経営を行っているが、サンゴ礁を含む沿岸海域の水産資源は、開発行為等の影響を受けて減少傾向にあり、沿岸資源に頼らない漁業が求められている。

沖縄県では1982年に宮古島で浮魚礁設置が行われ、以降県内に浮魚礁が普及していき、全県で比較的资源量・漁獲量が安定しているマグロやカツオ等の回遊性魚類が漁獲されるようになった。

県内の水揚げ量は約15,000トンで、マグロ類が約70%を占めており、このうち約1/4が浮魚礁漁業によるものである。県内の漁業経営体数は約2,700経営体で、浮魚礁を利用する経営体数は約1,000あり、浮魚礁設置による漁家経営への波及効果は大きい。

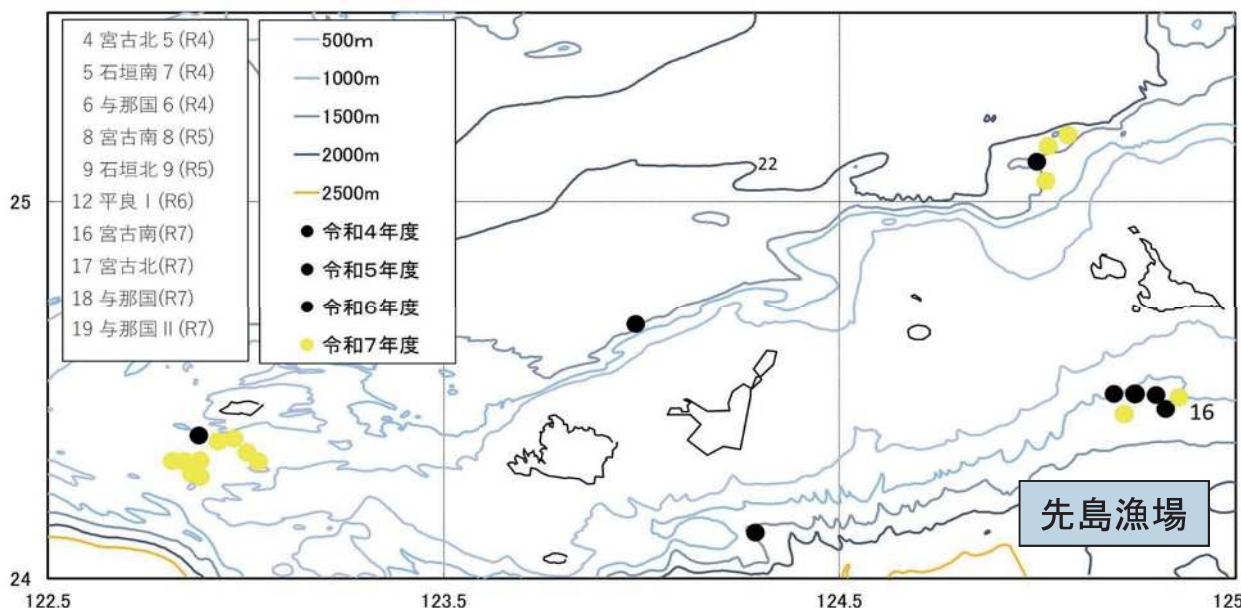
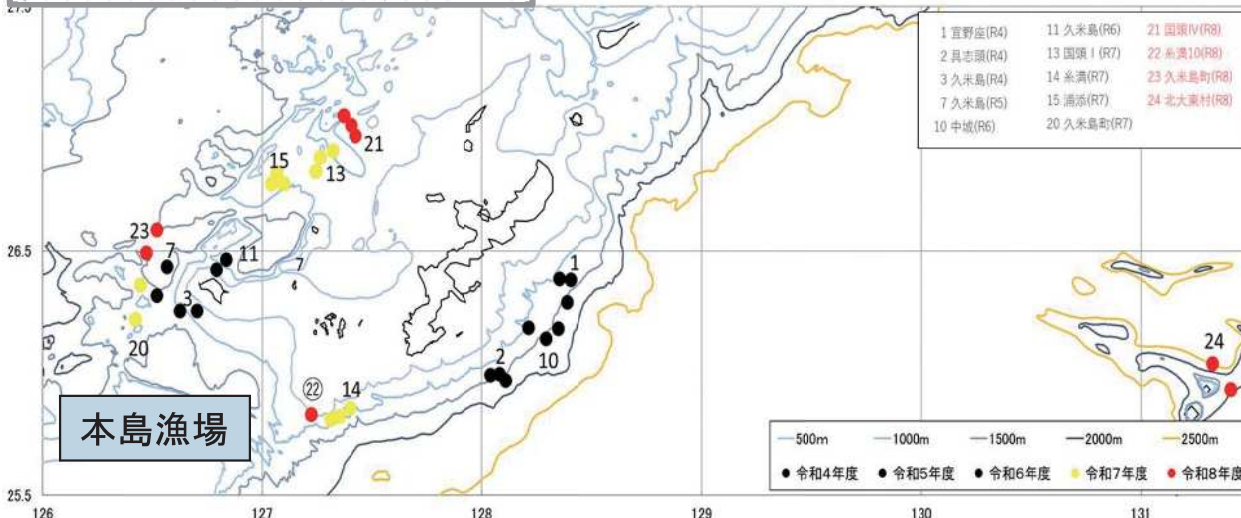
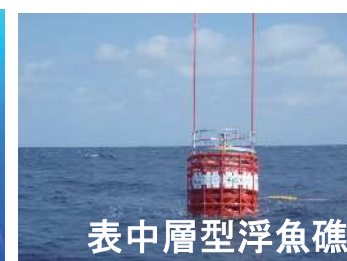
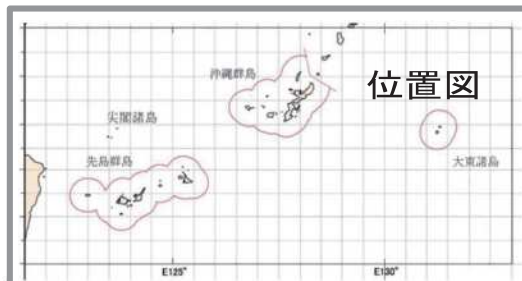
●事業の目的

水産資源の持続的利用に配慮しつつ、比較的资源量・漁獲量が安定しているマグロやカツオ等の回遊性魚類が滞留する漁場を維持するために、耐用年数が切れる浮魚礁について更新整備を行うことで、漁業の操業の効率化と漁業者の所得の安定、水産物の安定供給を図る。

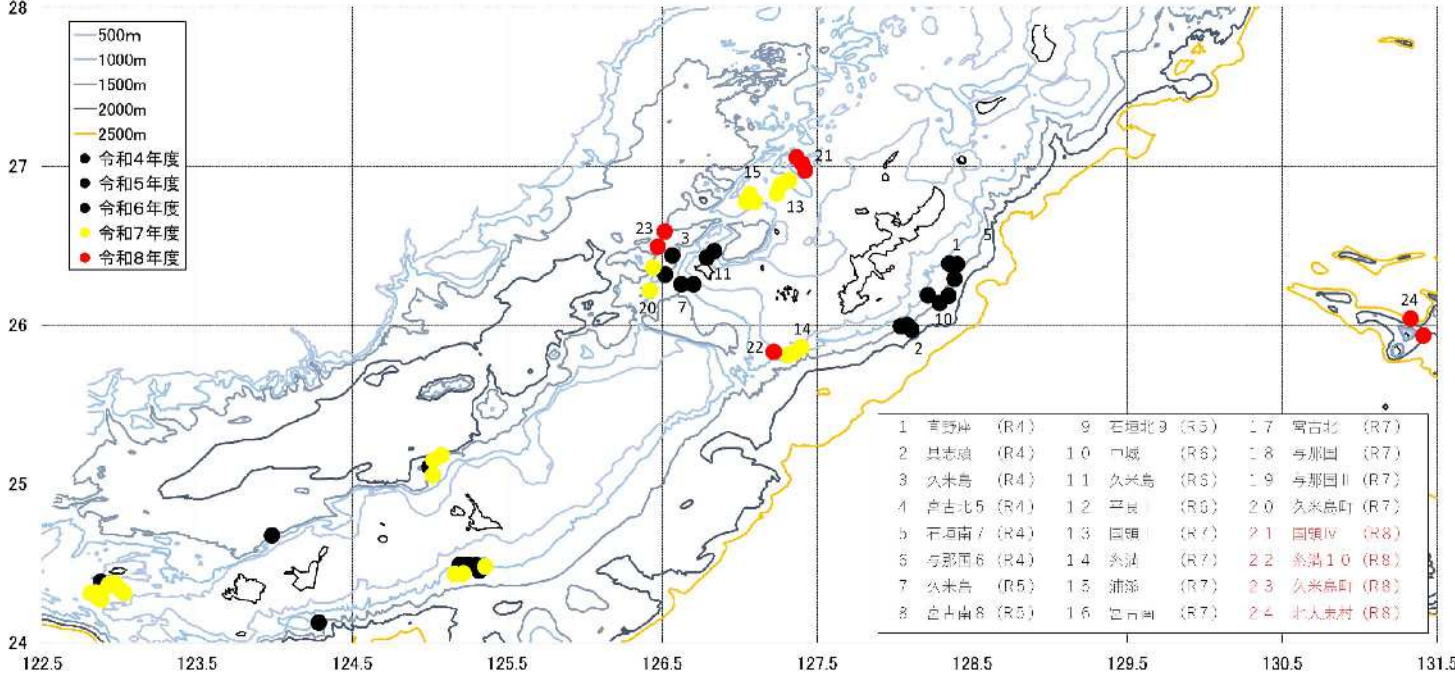
また、本計画では表中層型浮魚礁について、流出警報装置のシステムを活用して、浮魚礁の位置や水温などの最新の情報をホームページにて発信することで、漁場選定の際に目安となる潮流・水温といった情報の提供による漁場移動ロスの削減・浮魚礁探索時間の減少による漁労の軽減を図る。

事業内容

- ・主な事業量：中層型浮魚礁 14工区51基
表中層型浮魚礁 6工区 6基
- ・事業費：4,330百万円
- ・事業主体：沖縄県、久米島町、北大東村
- ・事業期間：R4～R8
- ・令和8年度実施要望額（事業費）：905,000千円
（国費）：543,000千円
- ・令和8年度事業実施予定箇所：
 - 中層型浮魚礁 工事 3工区7基
 - 表中層型浮魚礁 工事 1工区1基



<様式－漁場平面図>

事業名（地区名）		水産環境整備事業（沖縄地区）					
整備対象漁場（工区）名	所管	事業主体名	関係市町村名		関係漁業協同組合名		
本島漁場及び先島漁場	沖縄	沖縄県、久米島町、北大東村	沖縄県内全市町村		沖縄県内全漁業協同組合		
計画施設等（注１）	工種（注２）		計画数量（注３）		対象漁業種類名	対象水産生物名	
魚礁（浮魚礁）	中層型及び表中層型浮魚礁の撤去、更新		事業全体	4,339.5ha	曳き縄、一本釣り	マグロ類、カツオ類、カジキ類	
						サワラ、シイラ等の広域回遊魚	
平面図						[凡例]（注４）	
						○	魚礁
						◇	着底基質
						▽	底質改善
						△	人工海底山脈
						□	覆砂
						[各施設の着色区分]	
						■	令和４年度の計画
						■	令和５年度の計画
						■	令和６年度の計画
						■	令和７年度の計画
■	令和８年度の計画						